

地方創生

～まち・ひと・しごと創生～

日本の人口は、2008年（平成20年）1億2,808万人をピークに減少に転じ、今後、加速度的に人口減少が進むと予想され、経済規模の縮小や社会保障制度の崩壊など、私たちの生活に大きな影響が懸念されます。国は、直面する人口減少問題などを解決するため「地方創生」の動きを加速し、4つの基本目標を掲げ、2060年に人口1億人程度を確保する方針です。

【国の基本目標】

- ①地方における安定した雇用を創出する
- ②地方への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

白鷹町ではこれらに対応し、人口減少に可能な限り歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めるため「白鷹町まち・ひと・しごと創生推進本部(本部長：佐藤誠七町長)」を4月15日に設立しました。また、地方創生に向けて基本目標や施策の基本的方向をまとめる総合戦略策定委員会（委員長：國方敬司山形大学人文学部副学部長）を設置し、「人口ビジョン」及び「総合戦略」について10月末を目途に策定を予定しています。

5月26日に開催された第1回策定委員会では、国の方針や県の対応等の説明のほか、本町の特徴として20代女性の減少が目立つ人口動態や転入転出先では長井市、山形市が多いことなどが報告され、委員からは「地方創生を考えていく上で、白鷹らしさ



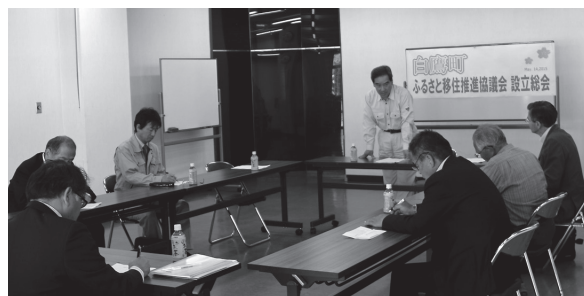
に向けてスタート!

や独自性をどう盛り込めターゲットを明確にしたうえで、向かうべき方向を明らかにしながら進むべき」「婚活イベントは目的が明確でどうしても地元の女性は恥じらいが出てしまうので、都市部からモニターツアーとして女性を呼んで、自然体験や地元密着型の婚活展開を」「町の機能が発揮できるよう内部の連携を密に」などの意見が出されました。次回は、町の強みや弱みを整理することとしました。策定委員会として一定の方向性が出た時点で、町報や町ホームページにより町民の皆様からのご意見を募集する予定です。「共創のまちづくり」を進め、将来にわたって活力ある白鷹町であり続けられるよう町を挙げて地方創生に取り組んでいきます。

～新しいひとの流れをつくる～

“移住促進” に向け協議会を設立

5月14日、地方創生の「地方への新しいひとの流れをつくる」に向けた取り組みとして町内関係団体と町で白鷹町ふるさと移住推進協議会（会長：横澤浩副町長）を設立しました。都市部からのUターンや移住推進に向けて体制を整備し、情報発信や相談業務がスタートしています。今後は、相談業務のほか、移住交流イベントへの出展や白鷹サテライトオフィス（東京都千代田区）と連携し、移住交流の拡大を図ります。なお、この事業は地方創生先行型として国からの交付金により実施されます。



●移住相談窓口

- ・白鷹サテライトオフィス（所長：井上良弘）

☎ 080-6019-7186

E-mail: shirataka.satellite@gmail.com

- ・企画政策課企画調整係

☎ 0238-85-6123

E-mail: kikaku@so.town.shirataka.yamagata.jp